

放課後子どもプランの活動報告 「科学おもちゃで遊ぼう！」

第十小学校放課後子どもプランでは、8月28日・29日の2日間にわたって「科学おもちゃで遊ぼう！」を行いました。この企画では、東京学芸大学の物理教室の学生が講師として参加してくれました。

28日は4年生～6年生の児童が対象で、高学年向けの少し難しい科学知識を取扱い、立体で作るシャボン玉などの魅力的な実験を行いました。29日は1年生～3年生の児童を対象に、科学を取り入れたブーメラン作りや糸でんわ作りなどの工作を行いました。

普段の授業とは違ったかたちで科学に触れることができ、参加児童からは大変好評でした。また、大学生に教えてもらうことも新鮮な体験だったようです。

放課後子どもプランでは、各小学校の実施委員の方々のご尽力により、様々な体験ができる機会を設けています。是非、ご参加ください。



※イベントの実施内容、頻度は学校により異なります。あらかじめご了承ください。

問合せ 社会教育課 ☎ (042) 574-4044

ピカロック PIKA☆ROCK vol.73 ライブヒカリ -LIVE HIKARI-



光公民館のライブ事業「PIKA☆ROCK vol.73 -LIVE HIKARI-」を、8月5日・6日に開催しました。光公民館のスタジオ利用者を中心に、高校生や大学生からシニア世代まで、計26バンドと弾き語り4組が出演し、最新のJ-POPや邦楽ロック、ジャズやオリジナル曲など様々なジャンルの曲が演奏されました。コロナ禍を経て、前回から会場とオンライン（YouTube）両方でのハイブリッド開催となりました。過去最多のバンド数、出演者数で行われ、会場は多くの盛り上がりを見せました。

今回は演奏と演奏の間の転換の時、メインステージとは別に、後ろのサブステージで弾き語りを行いました。演奏だけでなく、暗い会場を生かして怖い話をした場面もあり、会場の人たちを飽きさせない工夫をしました。

ライブの映像は、YouTubeチャンネル「PIKA ROCK 実行委員会」で観ることができます。過去3年分のアーカイブ動画も公開されているので、ぜひチェックしてみてください。

このライブは出演者が実行委員となり、準備から片付け、音響・照明での演出、YouTubeへの配信など、全員でライブをつくりあげています。市内の都立国分寺高等学校の生徒の皆さんも、実行委員として47人が参加し、ライブを高校生パワーで支えました。次回は来年3月に行う予定です。ぜひ一度会場に来て、本格的なライブを体験してみませんか。



YouTubeチャンネル「PIKA ROCK 実行委員会」
<https://youtube.com/@pikarock2801>



問合せ 公民館課（光） ☎ (042) 576-3991

図書館のおすすめ本

てみ せかい 手で見るぼくの世界は

かしざき あかね さく さかい さね そうが さしえ しゅっぱん ねん
榎崎 茜 / 作 酒井 以 / 装画・挿絵 くもん出版 2022年

佑は、視覚支援学校の中学1年生。寄宿舎に入り、新しい学校生活が始まったが、授業にも白杖の訓練にも今ひとつ身がはいらない。小学部からの友人、双葉がある事件をきっかけに学校に来なくなってしまったからだ。

双葉は、事件の際に投げつけられた心ない一言に深く傷つき、家を出ることができなくなっていた。そんななか、心配する母親に誘われて、双葉は「伴歩・伴走クラブ」という団体の活動を見学に行く。佑もまた、双葉に会いに行くという目標を立て、白杖の訓練に積極的に取り組みはじめた。

それぞれに思い悩みもがきながら、自分の扉を開き、前へ進もうとする二人の主人公。「見る」「見える」ってどのようなことなのだろう。読みながら、読んだ後に皆さんはどんなことを考えるでしょうか。（小学校高学年から）



き おと みみ 聞いて聞いて！音と耳のはなし

たかつ おさむ えんどう よしと ぶん ながさき くにこ え ふくいんかんしょてん ねん
高津 修・遠藤 義人 / 文 長崎 訓子 / 絵 福音館書店 2023年

たいこの音、ふうりんの音、手をたたく音、友だちがはなす声…。わたしたちのまわりには、たくさんの音があります。

音はどうやって耳にとどくの？たかい音とひくい音って、いったいなにがちがうのかな？

花火が見えてから、音が聞こえるまでに時間がかかるのはなぜだろう。

音と耳のふしぎについて、さぐってみよう。

（小学校低学年から）



◆◆こくぶんじしりつとしょかん「こどものページ」◆◆

こどものほんの情報は、こちら⇒



問合せ 図書館課（本多） ☎ (042) 324-2022